# 令和3年度

宇治市水道事業会計決 算審査意見書

4 宇監査第 108 号 令和 4 年 9 月 22 日

宇治市長 松村 淳子 様

宇治市監査委員 池上哲朗

同 松 岡 ゆかり

同 松 峯 茂

# 令和3年度宇治市水道事業会計 決算審査意見の提出について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された令和3年度宇治市水道事業会計決算及び証書類、損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分計算書、貸借対照表、その他決算附属書類を、宇治市監査基準に準拠して審査した結果について、次のとおり意見を提出する。

### 令和3年度宇治市水道事業会計決算審査意見

#### 第1 審査の対象

令和3年度 字治市水道事業会計決算

#### 第2 審査の期間

令和4年6月30日から同年8月23日まで

#### 第3 審査の方法

審査に当たっては、審査に付された決算報告書、損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分計算書、貸借対照表及びその他決算附属書類が地方公営企業法第30条及び同法施行令第23条の規定に準拠して作成されているか、また、水道事業の財政状態及び経営成績が適正に表示されているかを総勘定元帳、補助簿及び証ひょう書類と照合し、その経理手続、計数の正否の確認を行った。その他必要に応じ関係職員から説明聴取を併せて実施するとともに、当年度に実施した検査等の結果をも参考にして審査を行った。

#### 第4 審査の結果

令和3年度宇治市水道事業に係る決算報告書、損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分計算書、貸借 対照表及びその他決算附属書類は、いずれも関係法令に準拠して適正に作成されており、その計数は正 確で財政状態及び経営成績を適正に表示しているものと認めた。

### 第5 審査の概要

#### 1 業務実績について

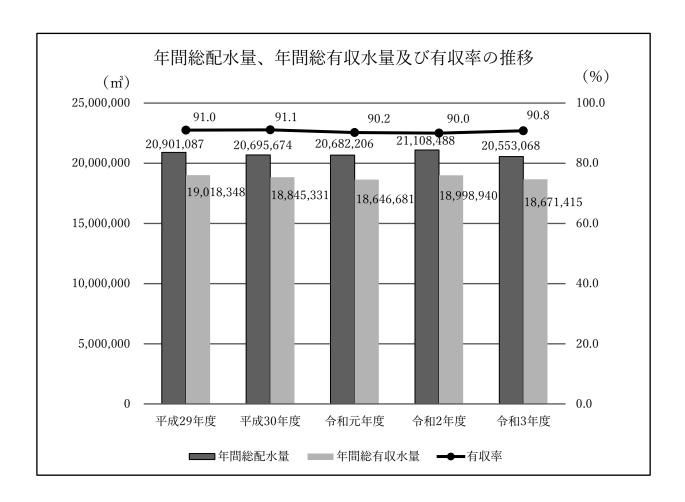
### (1) 業務の状況

令和3年度の業務の状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

E	会₹n o 左座	<b>△チロ 0 左座</b>	対前年	度比較
区 分	令和3年度	令和2年度	増減	増減率 (%)
年度末総人口(人)	182, 841	184, 432	△ 1,591	△ 0.9
計画給水人口(人)	188, 000	188, 000	0	0.0
年度末給水人口(人)	181, 960	183, 530	△ 1,570	△ 0.9
普 及 率 (%)	99. 5	99. 5	0	_
年度末総戸数(戸)	84, 791	84, 818	△ 27	0.0
年度末給水戸数(戸)	83, 996	84, 002	△ 6	0.0
年間総配水量(m³)	20, 553, 068	21, 108, 488	△ 555, 420	△ 2.6
年間自己水量(m³)	6, 534, 257	6, 284, 379	249, 878	4.0
年 間 受 水 量 (m³)	14, 018, 811	14, 824, 109	△ 805, 298	△ 5.4
1日平均配水量(m³)	56, 310	57, 831	△ 1,521	△ 2.6
1日最大配水量(m³)	61, 297	61, 919	△ 622	△ 1.0
1日1人平均配水量(ℓ)	309	315	△ 6	△ 1.9
1日1人最大配水量(ℓ)	337	337	0	0.0
年間総有収水量 (m³)	18, 671, 415	18, 998, 940	△ 327, 525	△ 1.7
有 収 率(%)	90.8	90. 0	0.8	_
年度末総配水管延長 (m)	700, 500	697, 912	2, 588	0.4
職員数(人)	65	70	△ 5	△ 7.1

<sup>(</sup>注)職員数は、管理者(管理者の権限を行う市長)、部長及び会計年度任用職員を除き、下水道事業を兼務する職員を含む。

最近5年間の年間総配水量、年間総有収水量及び有収率の推移は、以下のとおりである。



給水戸数は8万3,996戸となり、前年度に比べ6戸(0.0%)減少し、給水人口は18万1,960人で、前年度に比べ1,570人(0.9%)減少している。

普及率は前年度と変わらず99.5%となっている。

年間総配水量は 2,055 万 3 千㎡で、前年度に比べ 55 万 5 千㎡ (2.6%) 減少している。このうち、自己水量は 653 万 4 千㎡で、前年度より 24 万 9 千㎡ (4.0%) 増加し、京都府営水道からの受水量は 1,401 万 8 千㎡で、前年度より 80 万 5 千㎡ (5.4%) 減少している。

年間総配水量の構成比率は、自己水量 31.8%、受水量 68.2%となっている。 年間総有収水量は 1,867 万 1 千㎡で、前年度に比べ 32 万 7 千㎡ (1.7%)減少している。 有収率は 90.8%で、前年度に比べ 0.8 ポイント上昇している。

#### (2) 施設の利用状況

最近3年間の施設の利用状況は、次表のとおりである。

区 分	令和3年度	令和2年度	令和元年度
配水能力(㎡/日)	90, 109	91, 809	92, 109
施設利用率(%)	62. 5	63. 0	61. 4
最大稼働率(%)	68. 0	67. 4	66. 6
負 荷 率 (%)	91. 9	93. 4	92. 1

(注) 施設利用率=1日平均配水量÷1日配水能力×100 最大稼働率=1日最大配水量÷1日配水能力×100 負 荷 率=1日平均配水量÷1日最大配水量×100

1日当たり配水能力は、自己水源の水量2万7,309㎡と京都府営水道からの受水量6万2,800㎡を合わせて9万109㎡となっている。前年度に比べ、1日平均配水量は1,521㎡(2.6%)減少し、1日最大配水量は622㎡(1.0%)減少している。この結果、施設の稼働状況を示す最大稼働率は前年度に比べ0.6ポイント上昇し、施設利用率は前年度に比べ0.5ポイント低下している。負荷率は前年度に比べ1.5ポイント低下している。

#### (3) 供給単価と給水原価

有収水量1㎡当たりの供給単価及び給水原価の推移をみると、次表のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	令和3年度	令和2年度	令和元年度
供給単価 (A)	155. 62	138. 39	157. 04
給水原価 (B)	184. 60	169. 51	164. 37
利 益 (A-B)	△ 28.98	△ 31.12	△ 7.33
料金回収率(A/B×100)	84. 3	81. 6	95. 5

(注) 供給単価=給水収益÷年間総有収水量

給水原価=(経常費用-受託工事費-材料売却原価-長期前受金戻入)÷年間総有収水量

供給単価は 155 円 62 銭で、前年度に比べ 17 円 23 銭(12.5%) 増加している。給水原価は 184 円 60 銭で、前年度に比べ 15 円 9 銭(8.9%) 増加している。

この結果、差損が28円98銭となり、1 m³当たりの差損は前年度に比2円14銭減少しており、料金回収率は84.3%で前年度に比べ2.7ポイント上昇している。

#### 2 予算執行状況について

#### (1) 収益的収入及び支出

令和3年度の収益的収入及び支出に係る予算執行状況は、次表のとおりである。

(単位:円・%)

				(     ===	
区分		予算額 (A)	決算額 (B)	予算額に比べ 決算額の増減 (B) — (A)	収入率
	営 業 収 益	3, 400, 348, 000	3, 390, 927, 778	△ 9, 420, 222	99. 7
収	給 水 収 益	3, 189, 127, 000	3, 196, 054, 710	6, 927, 710	100. 2
	その他営業収益	211, 221, 000	194, 873, 068	△ 16, 347, 932	92. 3
	営業外収益	513, 968, 000	619, 110, 077	105, 142, 077	120. 5
益	受 取 利 息	1, 128, 000	314, 949	△ 813, 051	27. 9
	加 入 金	104, 425, 000	245, 193, 300	140, 768, 300	234. 8
,,	補 助 金	16, 814, 000	16, 702, 432	△ 111, 568	99. 3
的	長期前受金戻入	299, 537, 000	299, 880, 522	343, 522	100. 1
	消費税及び 地方消費税還付金	89, 300, 000	52, 450, 724	△ 36, 849, 276	58. 7
収	雑 収 益	2, 764, 000	4, 568, 150	1, 804, 150	165. 3
12	特 別 利 益	58, 000	73, 696	15, 696	127. 1
	過年度損益 修 正 益	58, 000	73, 696	15, 696	127. 1
入	収 入 合 計	3, 914, 374, 000	4, 010, 111, 551	95, 737, 551	102. 4
	前年度収入合計	3, 868, 962, 000	3, 945, 611, 707	76, 649, 707	102. 0

(注)決算額は、仮受消費税及び地方消費税325,481,794円を含む。

収益的収入は予算額 39 億 1,437 万 4 千円に対し、決算額 40 億 1,011 万 1 千円で、収入率は 102.4%となっている。決算額は前年度と比較すると、6,449 万 9 千円(1.6%)増加し、収入率は 0.4 ポイント上昇している。

	区 分	予算額	決算額	執行率	翌年度繰越額	不用額
	営業費用	3, 968, 043, 000	3, 897, 340, 140	98. 2	0	70, 702, 860
収	原水及び浄水費	1, 924, 523, 135	1, 915, 528, 197	99. 5	0	8, 994, 938
1	配水及び給水費	694, 972, 654	678, 345, 642	97. 6	0	16, 627, 012
	業務費	209, 843, 000	190, 133, 135	90. 6	0	19, 709, 865
益	総 係 費	253, 397, 211	233, 744, 808	92. 2	0	19, 652, 403
	減価償却費	875, 734, 000	868, 657, 189	99. 2	0	7, 076, 811
	資産減耗費	9, 573, 000	10, 931, 169	114. 2	0	△ 1, 358, 169
的	営業外費用	76, 209, 000	75, 989, 552	99. 7	0	219, 448
	支払利息及び 企業債取扱諸費	76, 209, 000	75, 989, 552	99. 7	0	219, 448
	特別損失	9, 090, 000	7, 316, 487	80. 5	0	1, 773, 513
支	過 年 度 損 益 修 正 損	9, 090, 000	7, 316, 487	80. 5	0	1, 773, 513
	予 備 費	1, 000, 000	0	0.0	0	1, 000, 000
	支 出 合 計	4, 054, 342, 000	3, 980, 646, 179	98. 2	0	73, 695, 821
出	前年度支出合計	3, 765, 394, 000	3, 704, 637, 826	98. 4	0	60, 756, 174

(注)決算額は、仮払消費税及び地方消費税231,803,650円を含む。

収益的支出は予算額 40 億 5, 434 万 2 千円に対し、決算額 39 億 8, 064 万 6 千円で、執行率は 98.2%となっている。決算額は前年度と比較すると、2 億 7, 600 万 8 千円 (7.5%) 増加し、執行率は 0.2 ポイント低下している。不用額は 7, 369 万 5 千円で、予算額に対する割合は 1.8%となってお 9、前年度よ 9 0.2 ポイント上昇している。

#### (2) 資本的収入及び支出

令和3年度の資本的収入及び支出に係る予算執行状況は、次表のとおりである。

(単位:円・%)

	区	分		予算額 (A)	決算額 (B)	予算額に比べ 決算額の増減 (B) - (A)	収入率
	企	業	債	2, 127, 800, 000	1, 168, 000, 000	△ 959, 800, 000	54. 9
資	寄	付	金	15, 000, 000	17, 613, 000	2, 613, 000	117. 4
本	工事	事 負 担	金金	439, 277, 000	185, 803, 550	△ 253, 473, 450	42. 3
的归	出	資	金	325, 345, 000	275, 677, 529	△ 49, 667, 471	84. 7
収入	収	入合	計	2, 907, 422, 000	1, 647, 094, 079	△ 1, 260, 327, 921	56. 7
	前年	度収入	合計	3, 334, 946, 000	2, 220, 857, 581	△1, 114, 088, 419	66. 6

<sup>(</sup>注)決算額は、仮受消費税及び地方消費税1,610,131円を含む。

資本的収入は予算額 29 億 742 万 2 千円に対し、決算額 16 億 4,709 万 4 千円、収入率は 56.7% で、前年度に比べ 9.9 ポイント低下している。

(単位:円・%)

	区 分	予算額	決算額	執行率	翌年度繰越額	不用額
資	建設改良費	3, 383, 999, 000	1, 970, 593, 805	58. 2	1, 210, 771, 000	202, 634, 195
本	企業債償還金	447, 599, 000	447, 598, 683	100.0	0	317
的	予 備 費	1, 000, 000	0	0.0	0	1, 000, 000
支	支出合計	3, 832, 598, 000	2, 418, 192, 488	63. 1	1, 210, 771, 000	203, 634, 512
出	前年度支出合計	4, 296, 230, 800	3, 099, 619, 853	72. 1	1, 066, 200, 000	130, 410, 947

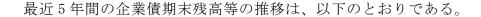
(注)決算額は、仮払消費税及び地方消費税 163,781,612 円を含む。

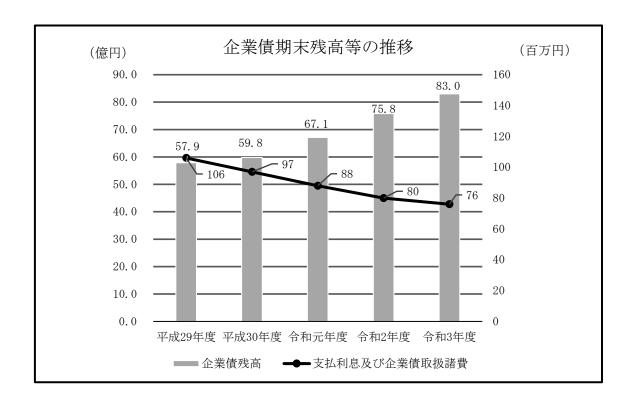
資本的支出は予算額 38 億 3, 259 万 8 千円に対し、決算額 24 億 1, 819 万 2 千円、執行率は 63. 1% で、前年度に比べ 9. 0 ポイント低下している。不用額は 2 億 363 万 4 千円で、予算額に対する割合は 5. 3%となっており、前年度に比べ 2. 3 ポイント上昇している。

翌年度繰越額は12億1,077万1千円で、前年度に比べ1億4,457万1千円(13.6%)増加している。

建設改良費の内訳は、施設改良費 19億6,334万円、営業設備費725万3千円となっている。 当年度末の企業債未償還残高は、前年度に比べ7億2,040万1千円増加し、83億218万4千円となっている。

この結果、資本的収支の差引不足額7億7,109万8千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本 的収支調整額1億4,814万円、過年度分損益勘定留保資金3億5,135万5千円及び当年度分損益勘定 留保資金2億7,160万2千円で補塡されている。





#### (3) たな卸資産購入限度額

令和3年度の予算に定められた購入限度額は4,153万5千円で、購入額は2,588万9千円となっており、限度額の範囲内で執行されている。

#### 3 経営成績について

#### (1) 収益的収支の推移

令和3年度の経営成績は、総収益36億3,221万8千円に対し、総費用は37億5,324万7千円で、収支差引き1億2,102万8千円の赤字決算となっている。総収益対総費用比率は96.8%となっており、前年度に比べ4.3ポイント低下している。

(単位:円・%)

総収i (水道事業 金額			総費用 (水道事業費用)		純利益	総収益対
		対前年度比	金額	対前年度比	(△は純損失)	総費用比率
令和3年度	3, 632, 218, 999	101. 9	3, 753, 247, 334	106. 4	△ 121, 028, 335	96.8
令和2年度	3, 566, 129, 568	100. 1	3, 526, 111, 159	104. 0	40, 018, 409	101. 1
令和元年度	3, 562, 303, 979	100. 7	3, 389, 422, 018	101. 4	172, 881, 961	105. 1

#### (2) 収益的収支の状況

令和3年度の収益的収支の状況及び前年度との比較は、次表のとおりである。

(単位:円・%)

区分	令和3年度	令和2年度	対前年度比較		
区分	77413千段	77417年度	増減額	増減率	
水道事業収益(ア)	3, 632, 218, 999	3, 566, 129, 568	66, 089, 431	1. 9	
営 業 収 益	3, 088, 115, 112	2, 794, 065, 199	294, 049, 913	10. 5	
営業外収益	544, 031, 615	763, 641, 170	△ 219, 609, 555	△ 28.8	
特別利益	72, 272	8, 423, 199	△ 8, 350, 927	△ 99.1	
水道事業費用(イ)	3, 753, 247, 334	3, 526, 111, 159	227, 136, 175	6. 4	
営 業 費 用	3, 666, 200, 232	3, 402, 909, 467	263, 290, 765	7. 7	
営業外費用	80, 394, 357	117, 264, 428	△ 36, 870, 071	△ 31.4	
特別損失	6, 652, 745	5, 937, 264	715, 481	12. 1	
差 引 額(ア)-(イ)	△ 121, 028, 335	40, 018, 409	△ 161, 046, 744	_	

総収益 36 億 3, 221 万 8 千円の内訳は、営業収益 30 億 8, 811 万 5 千円(85.0%)、営業外収益 5 億 4, 403 万 1 千円(15.0%)、特別利益 7 万 2 千円(0.0%)となっている。

営業収益は、前年度より2億9,404万9千円(10.5%)増加している。 営業外収益は、前年度より2億1,960万9千円(28.8%)減少している。 特別利益は、前年度より835万円(99.1%)減少している。

総費用 37 億 5,324 万 7 千円の内訳は、営業費用 36 億 6,620 万円(97.7%)、営業外費用 8,039 万 4 千円(2.1%)、特別損失 665 万 2 千円(0.2%) となっている。

営業費用は、前年度より2億6,329万円(7.7%)増加している。 営業外費用は、前年度より3,687万円(31.4%)減少している。 特別損失は、前年度より71万5千円(12.1%)増加している。

総費用を主な性質別に分類して表示すると、次表のとおりである。

(単位:円・%)

豆 八	令和3年度		令和2年	令和2年度		413471
区分	金額(A)	構成比率	金額(B)	構成比率	(A) - (B)	対前年度比
人 件 費	449, 652, 113	12. 0	462, 763, 315	13. 1	△ 13, 111, 202	97. 2
委 託 料	258, 934, 881	6. 9	223, 776, 008	6. 3	35, 158, 873	115. 7
修繕費	273, 227, 781	7. 3	242, 359, 055	6. 9	30, 868, 726	112.7
動力費	140, 315, 745	3. 7	133, 264, 917	3.8	7, 050, 828	105. 3
受 水 費	1, 538, 713, 508	41.0	1, 423, 658, 144	40. 4	115, 055, 364	108. 1
有形固定資産 減価償却費	865, 888, 889	23. 1	790, 305, 132	22. 4	75, 583, 757	109.6
企業債利息	75, 989, 552	2.0	80, 494, 416	2. 3	△ 4, 504, 864	94. 4
その他	150, 524, 865	4. 0	169, 490, 172	4.8	△ 18, 965, 307	88.8
計	3, 753, 247, 334	100.0	3, 526, 111, 159	100. 0	227, 136, 175	106. 4

前年度より増加した主なものは、委託料 3,515 万 8 千円、受水費 1 億 1,505 万 5 千円、有形固定資産減価償却費 7,558 万 3 千円である。

前年度より減少した主なものは、人件費1,311万1千円、企業債利息450万4千円である。

#### 4 財政状態について

#### (1) 資産及び負債・資本の状況

令和3年度の財政状態及び前年度との比較は、次表のとおりである。

(単位:円・%)

□ /\	会£11.2 左连	会£0.0 左连	対前年度は	北較
区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
資 産 合 計	26, 710, 878, 816	26, 389, 165, 897	321, 712, 919	1. 2
固定資産	23, 843, 512, 955	22, 892, 885, 320	950, 627, 635	4. 2
流動資産	2, 867, 365, 861	3, 496, 280, 577	△ 628, 914, 716	△ 18.0
負債・資本合計	26, 710, 878, 816	26, 389, 165, 897	321, 712, 919	1. 2
負債合計	15, 659, 948, 584	15, 492, 884, 859	167, 063, 725	1. 1
固定負債	8, 200, 466, 583	7, 484, 540, 361	715, 926, 222	9. 6
流動負債	1, 630, 083, 689	2, 090, 776, 504	△ 460, 692, 815	△ 22.0
繰延収益	5, 829, 398, 312	5, 917, 567, 994	△ 88, 169, 682	△ 1.5
資本合計	11, 050, 930, 232	10, 896, 281, 038	154, 649, 194	1. 4
資 本 金	9, 197, 690, 621	8, 922, 013, 092	275, 677, 529	3. 1
剰 余 金	1, 853, 239, 611	1, 974, 267, 946	△ 121, 028, 335	△ 6.1
資本剰余金	822, 876, 206	822, 876, 206	0	0.0
利益剰余金	1, 030, 363, 405	1, 151, 391, 740	△ 121, 028, 335	△ 10.5

資産の総額は267億1,087万8千円で、前年度に比べ3億2,171万2千円(1.2%)増加している。 資産の構成比率は、固定資産89.3%、流動資産10.7%となっている。

資産の内訳をみると、固定資産は238億4,351万2千円で、前年度に比べ9億5,062万7千円(4.2%)増加している。

流動資産は28億6,736万5千円で、前年度に比べ6億2,891万4千円(18.0%)減少している。 負債の総額は156億5,994万8千円で、前年度に比べ1億6,706万3千円(1.1%)増加している。 負債合計に対する構成比率は、固定負債52.4%、流動負債10.4%、繰延収益37.2%となっている。 固定負債の内訳は、企業債 78 億 4,751 万円、引当金 3 億 5,295 万 6 千円となっており、また流動負債は 16 億 3,008 万 3 千円で、前年度に比べ 4 億 6,069 万 2 千円(22.0%)減少している。

資本の総額は 110 億 5,093 万円で、前年度に比べ 1 億 5,464 万 9 千円 (1.4%) 増加している。 資本の構成比率は、資本金 83.2%、剰余金 16.8% となっている。

剰余金の内訳は、資本剰余金及び利益剰余金で、前年度に比べ資本剰余金は増減がなく、利益剰 余金は1億2,102万8千円(10.5%)減少している。

#### (2) 財務比率について

経営の健全性・効率性を示す主な指標について、最近3年間の推移をみたものが次表である。

(単位:%)

区 分	令和3年度	令和2年度	令和元年度	備考
経常収支比率	96. 9	101. 1	105. 3	給水収益や一般会計からの繰入金等の収益で、 維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄え ているかを表す指標である。
累積欠損金 比 率	0.0	0.0	0.0	営業収益に対する累積欠損金(営業活動により 生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等 でも補塡することができず、複数年度にわたっ て累積した損失のこと)の状況を表す指標であ る。
流動比率	175. 9	167. 2	192. 9	短期的な債務に対する支払能力を表す指標であ る。
企業債残高対 給水収益比率	285. 7	288. 4	229. 1	給水収益に対する企業債残高の割合であり、企 業債残高の規模を表す指標である。

経常収支比率は、単年度の収支が黒字であることを示す 100%以上となっていることが必要である。当年度は96.9%で、前年度に比べ4.2ポイント低下し、100%を下回っている。

累積欠損金比率は、累積欠損金が発生していないことを示す 0%であることが求められる。本市は、累積欠損金が発生していないため、0%で推移している。

流動比率は、1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す 100%以上であることが必要である。当年度は 175.9%で、前年度に比べ 8.7 ポイント上昇している。

企業債残高対給水収益比率は、明確な数値基準はないと考えられるが、経営改善を図っていく上で、投資規模は適切か、料金水準は適切か分析を行うものであり、当年度は 285.7%で、前年度に 比べ2.7 ポイント低下している。

#### 第6 総括意見

水道事業においては、平成23年度に年度末人口が減少に転じて以来、当年度まで給水人口は毎年減少し、また年度末総戸数、給水戸数ともに減少となった。あわせて、前年度には一時的に年間総配水量が増加したものの、当年度は再び減少となるなど水需要の減少傾向は止まらず、水道事業を取り巻く環境は厳しい状況が続いているところである。

当年度の業務状況をみると、給水戸数は8万3,996戸で、前年度に比べ6戸減少し、給水人口も18万1,960人で、前年度に比べ1,570人減少している。普及率は99.5%で、専用水道を含む水道普及率は99.9%となっている。

年間総配水量は 2,055 万 3 千㎡で、前年度に比べ 2.6%減少し、総配水量のうち料金収入を伴った水量の年間総有収水量は 1.7%減少の 1,867 万 1 千㎡となっており、その割合を示す有収率は 0.8 ポイント増加し 90.8%となっている。有収率の向上は水道事業の安定的経営に重要であることから、引き続き、有収率の向上に努められたい。 [P90 参照]

次に、水道事業の経営状況をみると、総収益 36 億 3, 221 万 8 千円に対し、総費用は 37 億 5, 324 万 7 千円で、1 億 2, 102 万 8 千円の純損失を計上した。経営の健全性を示す経常収支比率も前年度 を 4.2 ポイント下回り、96.9%となり、健全経営の水準とされる 100%を下回ることとなった。

[P97 · P100 参照]

総収益は前年度に比べ、6,608 万 9 千円増加している。これは、営業収益の増加によるものである。

総費用は前年度に比べ、2億2,713万6千円増加している。これは、受水費や有形固定資産減価 償却費等の増加によるものである。 [P97・P98参照]

有収水量 1 m当たりの収支比較では、供給単価が 155 円 62 銭に対し、給水原価は 184 円 60 銭で、 28 円 98 銭の費用超過となったが、 1 m当たりの差損は、前年度に比べ 2 円 14 銭減少している。

「PQ2 参昭<sup>1</sup>

資本的収支では、資本的収入は16億4,709万4千円で、前年度に比べ5億7,376万3千円減少し、資本的支出は24億1,819万2千円で、前年度に比べ6億8,142万7千円減少した。7億7,109万8千円の収支不足は過年度分損益勘定留保資金等で補塡されている。 [P95参照]

企業債は、当年度の新たな借入れが11億6,800万円、償還高が4億4,759万8千円であり、当年度末現在の企業債未償還残高は83億218万4千円となり、前年度に比べ7億2,040万1千円増加した。

企業債未償還残高は、平成26年度まで徐々に減少していたが、平成27年度に簡易水道事業及び飲料水供給施設事業を水道事業に経営統合したことに伴い、両事業の債務を引き継いだことから増加に転じ、平成29年度以降は老朽化した施設の更新や耐震化等の事業に伴う企業債の発行等により8年連続での増加となった。 [P96参照]

人口減少や節水意識の向上、節水機器の普及等に伴い水需要が減少し、給水収益の減少が予測されている一方で、老朽化が進む水道施設、管路等の更新及び耐震化への対応に多額の投資費用が見込まれるといった大きな課題への対応が求められている。そのような中、当年度は経常収支比率が96.9%となるなど非常に厳しい経営状況にあることから、経営の効率化を図るなど経営努力を続け

ることが求められる。

今後も安全な水道水の安定供給を図るため、令和3年3月に策定された「宇治市水道事業ビジョン・経営戦略」に基づき施設の更新及び耐震化を図るとともに、収支均衡に向けての施策に取り組み、持続可能な水道事業運営に努められたい。

# 決 算 審 査 資 料

# 決算審査資料 目 次

第	1	表	予算決算対照比率表	104
第	2	表	損益計算書構成比率表	106
第	3	表	費用使途別比率表	108
第	4	表	費用節別比率表	110
第	5	表	貸借対照表構成比率 ·····	112
第	6	表	経営分析表	114
第	7	表	キャッシュ・フロー計算書(間接法)	116

## 第1表 予算決算対照比率表

### 1 収益的収支

収入

(単位:円・%)

区	分	予算額	構成	素成 比 率 		構成	比 率	決算額のに対す	の予算額 る割合
			3年度	2年度	(大) <del>异</del> ((供)	3年度	2年度	3年度	2年度
水道事	業収益	3, 914, 374, 000	100.0	100.0	4, 010, 111, 551	100.0	100.0	102. 4	102. 0
営業	美 収 益	3, 400, 348, 000	86. 9	78. 6	3, 390, 927, 778	84.6	77.8	99. 7	100. 9
営業	外収益	513, 968, 000	13. 1	21.4	619, 110, 077	15. 4	22. 0	120. 5	104. 7
特另	川利 益	58, 000	0.0	0.0	73, 696	0.0	0. 2	127. 1	44, 341. 2

支出

(単位:円・%)

区	分	予算額	I I I I I I I I I I I I I I I I I I I		決算額	構成	比 率	決算額のに対す	D 予 算 額 る 割 合
	n	J´ 异 (()			3年度	2年度	3年度	2年度	
水道事	業費用	4, 054, 342, 000	100.0	100.0	3, 980, 646, 179	100.0	100.0	98. 2	98. 4
営業	美費 用	3, 968, 043, 000	97. 9	97. 4	3, 897, 340, 140	97. 9	97. 7	98. 2	98. 7
営業	外費用	76, 209, 000	1.9	2.4	75, 989, 552	1.9	2. 2	99. 7	89. 5
特別	〕損 失	9, 090, 000	0.2	0.2	7, 316, 487	0.2	0.2	80. 5	79. 3
予	備費	1, 000, 000	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0

#### 2 資本的収支

収入

(単位:円・%)

4	分	分予算額		構成比率決		構成	比 率	決算額のに対す	
区		,	3年度 2	2年度	決算額	3年度	2年度	3年度	2年度
資本的	的収入	2, 907, 422, 000	100.0	100.0	1, 647, 094, 079	100.0	100.0	56. 7	66. 6
企	業債	2, 127, 800, 000	73. 2	62. 3	1, 168, 000, 000	70. 9	59. 4	54. 9	63. 5
寄	付 金	15, 000, 000	0. 5	0.3	17, 613, 000	1. 1	1. 1	117. 4	237. 8
工具	事負担金	439, 277, 000	15. 1	13. 5	185, 803, 550	11.3	12.0	42. 3	58. 9
出	資 金	325, 345, 000	11. 2	23. 8	275, 677, 529	16. 7	27. 6	84. 7	77. 0

支出

(単位:円・%)

区分	予算額・	構成比率		構成	比 率	決算額のに対す	) 予算額 る 割 合	
		3年度	2年度	以 笄 娘	3年度	2年度	3年度	2年度
資本的支出	3, 832, 598, 000	100.0	100.0	2, 418, 192, 488	100.0	100.0	63. 1	72. 1
建設改良費	3, 383, 999, 000	88.3	89. 6	1, 970, 593, 805	81. 5	85. 6	58. 2	68. 9
企業債償還金	447, 599, 000	11.7	10. 4	447, 598, 683	18. 5	14. 4	100.0	100.0
予備費	1, 000, 000	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 第1表中の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

## 第2表 損益計算書構成比率表

借		方			
区分	金額	樟	身成 比 翠	<u> </u>	
E A	立 領	3年度	2年度	元年度	
1. 営 業 費 用	3, 666, 200, 232	97. 7	96. 5	97. 1	
(1) 原 水 及 び 浄 水 費	1, 742, 309, 783	46. 4	45. 7	43.9	
(2) 配 水 及 び 給 水 費	630, 597, 106	16.8	16. 7	17. 6	
(3) 業 務 費	183, 134, 943	4.9	5. 2	5. 9	
(4)総 係 費	230, 570, 042	6. 1	6. 1	6. 2	
(5) 減 価 償 却 費	868, 657, 189	23. 1	22. 5	22. 1	
(6) 資 産 減 耗 費	10, 931, 169	0.3	0. 4	1.4	
2. 営 業 外 費 用	80, 394, 357	2. 1	3. 3	2. 7	
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	75, 989, 552	2.0	2. 3	2.6	
(2) 雑 支 出	4, 404, 805	0. 1	1. 0	0. 1	
3. 特 別 損 失	6, 652, 745	0. 2	0. 2	0.2	
(1) 過年度損益修正損	6, 652, 745	0.2	0. 2	0.2	
小計	3, 753, 247, 334	100.0	100. 0	100.0	
合 計	3, 753, 247, 334				

(単位:円・%)

貸			方	L. □ • /0)
区分	金額	棒	<b>,成比</b>	<u>K</u>
in the second se	並 領	3年度	2年度	元年度
1. 営 業 収 益	3, 088, 115, 112	85. 0	78. 4	87. 4
(1) 給 水 収 益	2, 905, 617, 818	80.0	73. 7	82. 2
(2) その他営業収益	182, 497, 294	5. 0	4. 6	5. 2
2. 営 業 外 収 益	544, 031, 615	15. 0	21. 4	12. 6
(1) 受 取 利 息	314, 949	0.0	0.0	0.0
(2) 加 入 金	222, 903, 000	6. 1	2. 2	2.6
(3) 補 助 金	16, 702, 432	0.5	10. 6	0.6
(4) 長期前受金戻入	299, 880, 522	8.3	8. 4	9. 0
(5)雑 収 益	4, 230, 712	0. 1	0. 2	0. 5
3. 特 別 利 益	72, 272	0.0	0.0	0.0
(1) 過年度損益修正益	72, 272	0.0	0.0	0.0
(2) その他特別利益	_	_	0. 2	0.0
小計	3, 632, 218, 999	100.0	100. 0	100. 0
当 年 度 純 損 失	121, 028, 335			
合 計	3, 753, 247, 334			

## 第3表 費用使途別比率表

	人	件	費		物件費
区分	金額	構成	比 率	対前年度比	金 額
	並	3年度	2年度	刈削平及比	並 領
1. 営 業 費 用	449, 652, 113	100.0	100.0	97.2	3, 216, 548, 119
(1) 原水及び浄水費	9, 102, 768	2.0	1. 9	102.5	1, 733, 207, 015
(2) 配水及び給水費	128, 468, 255	28. 6	28. 5	97.3	502, 128, 851
(3) 業 務 費	114, 358, 306	25. 4	27. 8	89. 0	68, 776, 637
(4) 総 係 費	197, 722, 784	44. 0	41. 8	102.3	32, 847, 258
(5) 減 価 償 却 費					868, 657, 189
(6) 資 産 減 耗 費					10, 931, 169
2. 営 業 外 費 用					80, 394, 357
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費					75, 989, 552
(2) 雑 支 出					4, 404, 805
3. 特 別 損 失					6, 652, 745
(1) 過年度損益修正損					6, 652, 745
合 計	449, 652, 113	100.0	100.0	97. 2	3, 303, 595, 221

(単位:円・%)

そ (	の他の	経 費			<b>†</b>	十元・11 /0/
構成	比 率	対前年度比	金額	構成	比率	対前年度比
3年度	2年度	为 前 千 及 比	亚(银	3年度	2年度	<b>对 </b>
97. 4	96.0	109. 4	3, 666, 200, 232	97. 7	96. 5	107. 7
52. 5	52.3	108. 2	1, 742, 309, 783	46. 4	45. 7	108. 1
15. 2	14. 9	110. 1	630, 597, 106	16.8	16. 7	107. 2
2. 1	1.8	127.8	183, 134, 943	4. 9	5. 2	100. 4
1.0	0.7	149. 0	230, 570, 042	6. 1	6. 1	107. 1
26. 3	25. 9	109. 5	868, 657, 189	23. 1	22. 5	109. 5
0.3	0.4	86. 5	10, 931, 169	0.3	0.4	86. 5
2. 4	3.8	68. 6	80, 394, 357	2. 1	3. 3	68. 6
2. 3	2.6	94. 4	75, 989, 552	2.0	2. 3	94. 4
0. 1	1.2	12. 0	4, 404, 805	0. 1	1. 0	12. 0
0. 2	0.2	112. 1	6, 652, 745	0. 2	0. 2	112. 1
0. 2	0.2	112. 1	6, 652, 745	0. 2	0. 2	112. 1
100.0	100.0	107. 8	3, 753, 247, 334	100.0	100.0	106. 4

第4表 費用節別比率表

	区	分		金額	構成	比 率	対前年度比
		)J		並	3年度	2年度	刈削牛皮丸
1.	人件費			449, 652, 113	12. 0	13. 1	97. 2
;	給		料	198, 934, 661	5. 3	5. 7	99. 5
	手		当	101, 151, 535	2. 7	3. 1	93. 4
	賞与引	当金繰入	額	35, 358, 000	0. 9	1. 0	100. 4
;	報		酬	14, 094, 741	0. 4	0.5	86. 8
-	法 定	福利	費	64, 990, 788	1. 7	1. 9	95. 4
-	退職	給 付	費	35, 122, 388	0. 9	1. 0	100. 5
2.	物件費その	他の経費		3, 303, 595, 221	88. 0	86. 9	107.8
-	旅		費	386, 767	0.0	0.0	108. 5
	報	償	費	0	0.0	0.2	0.0
;	被	服	費	282, 200	0.0	0.0	81. 7
,	備消	品	費	4, 012, 258	0. 1	0.1	95. 6
;	燃	料	費	1, 498, 824	0.0	0.0	121. 2
:	光熱	水	費	3, 308, 796	0. 1	0.1	106. 2
	印 刷	製本	費	1, 829, 845	0.0	0. 1	79. 9
	通信	運 搬	費	11, 746, 466	0.3	0.3	95. 9
,	広	告	料	80,000	0.0	0.0	100. 0
į	委	託	料	258, 934, 881	6. 9	6. 3	115. 7
	手	数	料	5, 304, 643	0. 1	0.1	147. 7
	賃	借	料	6, 548, 117	0. 2	0.2	99. 2

(単位:円・%)

		構成	比 率	<u> </u>
区 分	金額	3年度	2年度	対前年度比
修繕費	273, 227, 781	7.3	6. 9	112. 7
材料費	714, 000	0.0	0.0	123. 1
路面復旧費	75, 716, 074	2.0	1.6	135. 3
動力費	140, 315, 745	3. 7	3.8	105. 3
薬 品 費	10, 423, 238	0.3	0. 3	108. 1
受 水 費	1, 538, 713, 508	41.0	40. 4	108. 1
負 担 金	1, 919, 514	0. 1	0. 1	92. 4
保険料	1, 839, 104	0.0	0. 1	86. 8
公 課 費	158, 000	0.0	0.0	78. 9
有形固定資産減価償却費	865, 888, 889	23. 1	22. 4	109. 6
無形固定資産減価償却費	2, 768, 300	0.1	0. 1	100. 0
固定資産除却費	10, 931, 169	0.3	0.4	86. 5
企 業 債 利 息	75, 989, 552	2.0	2. 3	94. 4
雑 支 出	4, 404, 805	0. 1	1. 0	12. 0
過年度損益修正損	6, 652, 745	0.2	0. 2	112. 1
合 計	3, 753, 247, 334	100.0	100.0	106. 4

## 第5表 貸借対照表構成比率表

借			方	
区分	金額	桿	身 成 比 率	<u> </u>
E 71	並 領	3年度	2年度	元年度
1. 固 定 資 産	23, 843, 512, 955	89. 3	86.8	86. 6
(1) 有 形 固 定 資 産	23, 834, 722, 455	89. 2	86. 7	86. 6
(2) 無 形 固 定 資 産	8, 790, 500	0.0	0.0	0.1
2. 流 動 資 産	2, 867, 365, 861	10. 7	13. 2	13. 4
(1) 現 金 預 金	1, 910, 031, 704	7. 2	8. 4	8.2
(2) 未 収 金	638, 135, 013	2. 4	3. 6	4.5
貸倒引当金	△ 7, 064, 244	0.0	0.0	0.0
(3) 貯 蔵 品	47, 773, 388	0.2	0. 2	0.2
(4) 前 払 金	278, 490, 000	1.0	1. 1	0.5
資 産 合 計	26, 710, 878, 816	100.0	100.0	100.0

貸		方		
区分	金額	構成比率		
Δ		3年度	2年度	元年度
1. 固 定 負 債	8, 200, 466, 583	30. 7	28. 4	27. 1
(1) 企 業 債	7, 847, 510, 263	29. 4	27.0	25. 5
(2) 引  当  金	352, 956, 320	1. 3	1.3	1.6
2. 流 動 負 債	1, 630, 083, 689	6. 1	7. 9	6. 9
(1) 企 業 債	454, 674, 426	1. 7	1.7	1.8
(2) 未 払 金	826, 126, 297	3. 1	4.9	3. 7
(3) 前 受 金	40, 059	0.0	0.0	0.0
(4) 引 当 金	46, 176, 000	0. 2	0.2	0.2
(5) その他流動負債	303, 066, 907	1. 1	1.2	1.2
3. 繰 延 収 益	5, 829, 398, 312	21. 8	22. 4	24. 2
(1) 長期前受金	14, 187, 884, 711	53. 1	53. 1	56. 1
収益化累計額	△ 8, 358, 486, 399	△ 31.3	△ 30.7	△ 31.9
4. 資 本 金	9, 197, 690, 621	34. 4	33.8	33. 9
5. 剰 余 金	1, 853, 239, 611	6. 9	7. 5	7. 9
(1) 資 本 剰 余 金	822, 876, 206	3. 1	3. 1	3. 4
(2) 利 益 剰 余 金	1, 030, 363, 405	3. 9	4. 4	4. 5
負債資本合計	26, 710, 878, 816	100.0	100.0	100.0

## 第6表 経営分析表

	分	析	項	目	3年度	2年度	元年度	類似団体平均値 (2年度)	全国平均値 (2年度)
経営の	1. 料	金 回	収	率(%)	84. 3	81.6	95. 5	103. 8	100. 1
健全性・	2. 施	設 利	用	率 (%)	62. 5	63. 0	61. 4	63. 1	60. 7
効率性	3. 有	収		率(%)	90.8	90. 0	90. 2	90. 1	89.8
	4. 減	形 固 菏 価 償	至 資 却	産 率 (%)	50. 7	52. 1	53. 2	50. 3	50. 2
老朽化の状況	5. 管	路経句	돈 化	率(%)	27. 2	25. 8	25. 0	21. 3	20.6
	6. 管	路更	新	率 (%)	1.0	1.0	0. 5	0. 7	0.7

指標の意味	算 出 式		
給水に係る費用が、どの程度給水収益で 賄えているかを表した指標であり、料金 水準等を評価することが可能である。数	供給単価 ×100		
値が低い場合は、適切な料金収入の確保 が求められる。	給水原価		
一日配水能力に対する一日平均配水量の 割合であり、施設の利用状況や適正規模	—日平均配水量 ————————————————————————————————————		
を判断する指標である。一般的には高い 数値であることが望まれる。	一日配水能力		
施設の稼働が収益につながっているかを 判断する指標で100%に近ければ近いほど 施設の稼働状況が収益に反映しているこ	年間総有収水量 ×100		
とを示している。数値が低い場合は、漏 水やメーターの不感等の原因を特定し、 その対策を講じる必要がある。	年間総配水量		
有形固定資産のうち償却対象資産の減価 償却がどの程度進んでいるかを表す指標 で、資産の老朽化度合を示している。	有形固定資産減価償却累計額 ×100		
一般的には数値が高いほど、法定耐用年 数に近い資産が多いことを示している。	有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価		
法定耐用年数を超えた管路延長の割合を 表す指標で、管路の老朽化度合を示して いる。	法定耐用年数を経過した管路延長 ×10		
一般的には数値が高いほど、法定耐用年 数を経過した管路を多く保有しているこ とを示している。	管路延長		
当該年度に更新した管路延長の割合を表 す指標で、管路の更新ペースや状況を把 握できる。数値が低い場合、耐震性や、	当該年度に更新した管路延長 ×100		
かある。 などさる。 数値が低い場合、耐震性や、 今後の更新投資の見通しを検討する必要がある。			

## 第7表 キャッシュ・フロー計算書(間接法)

区分	3年度 (A)
1. 業務活動によるキャッシュ・フロー	429, 175, 423
当年度純利益 (△は純損失)	△ 121, 028, 335
減価償却費	868, 657, 189
固定資産除却損	10, 931, 169
引当金の増減額 (△は減少)	1, 535, 506
長期前受金戻入額	△ 299, 880, 522
受取利息及び受取配当金	△ 314,949
支払利息	75, 989, 552
未収金の増減額(△は増加)	△ 33, 662, 960
未払金の増減額(△は減少)	2, 569, 492
前受金の増減額 (△は減少)	△ 120,979
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1, 951, 152
その他流動負債の増減額 (△は減少)	△ 1,776,289
小計	504, 850, 026
利息及び配当金の受取額	314, 949
利息の支払額	△ 75, 989, 552
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2, 055, 608, 735
有形固定資産の取得による支出	△ 2, 258, 480, 975
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	186, 869, 371
寄付金等による収入	16, 002, 869
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	1, 331, 877, 534
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1, 168, 000, 000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 447, 598, 683
他会計からの出資による収入	611, 476, 217
資金増加額(又は減少額)	△ 294, 555, 778
資金期首残高	2, 204, 587, 482
資金期末残高	1, 910, 031, 704

(単位:円・%)

0 F IF	134 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	(単位:円・%)
2年度 (B)	增減額 (A) — (B)	対前年度比
571, 730, 264	△ 142, 554, 841	75. 1
40, 018, 409	△ 161, 046, 744	_
793, 073, 432	75, 583, 757	109. 5
12, 637, 086	△ 1,705,917	86. 5
△ 38, 411, 772	39, 947, 278	_
△ 299, 614, 376	△ 266, 146	_
△ 857, 588	542, 639	_
80, 494, 416	△ 4, 504, 864	94. 4
26, 393, 784	△ 60, 056, 744	_
28, 161, 406	△ 25, 591, 914	9. 1
34, 266	△ 155, 245	-
1, 715, 320	235, 832	113. 7
7, 722, 709	△ 9, 498, 998	-
651, 367, 092	△ 146, 517, 066	77. 5
857, 588	△ 542,639	36. 7
△ 80, 494, 416	4, 504, 864	_
△ 2, 002, 247, 175	△ 53, 361, 560	-
△ 2, 257, 828, 929	△ 652, 046	_
232, 490, 838	△ 45, 621, 467	80. 4
23, 090, 916	△ 7, 088, 047	69. 3
1, 628, 445, 894	△ 296, 568, 360	81. 8
1, 319, 300, 000	△ 151, 300, 000	88. 5
△ 447, 100, 607	△ 498, 076	_
756, 246, 501	△ 144,770,284	80. 9
197, 928, 983	△ 492, 484, 761	_
2, 006, 658, 499	197, 928, 983	109. 9
2, 204, 587, 482	△ 294, 555, 778	86. 6